

# 宿舎山

ハケ岳

1962年度

独協高校

ワンダー・フォーゲル部

D・W・V



参加氏名

学年	任務	名前	住所	電話
先生		高梨富三郎	世田谷区池尻町38	都営10の1010
〃		中山礼吉	杉並区馬橋4	の558
3年		原吉雄	渋谷区元広尾町19	(473) 1429
2年3組		岸田浩昭	立川市紫崎2~107	(0425) 2-6487
3組		中川真之介	豊島区池袋東1	の57 (982) 7422
4組		中尾一成	目黒区平町176	(717) 5089
1年6組		藤田晃一	市川市八幡町3	-(763) 2, 1591

冬山合宿計画表

期日 1962年12月22日 ~ 26日

目的地 ハツ岳連山

出発 新宿発夜 23時45分 長野行

コース

新宿  $\xrightarrow{\text{汽車}}$  茅野

茅野  $\xrightarrow{\text{バス}}$  ハツ岳農場  $\longrightarrow$  美農戸  $\longrightarrow$  柳川

南沢 (あるいは北沢)  $\longrightarrow$  行者小屋 (泊)

阿弥陀岳 赤岳 横岳 硫黄岳 を2日位に分けて登る。

行者小屋  $\longrightarrow$  美農戸  $\longrightarrow$  ハツ岳農場  $\xrightarrow{\text{バス}}$

茅野

費用 汽車賃 約 900円 (学割使用 往復) トラック代  
バス代 約 200円 (荷物代共 往復)

地図 五万分の一 「ハツ岳」 35円



## 解説

ハケ岳の樹形等はガイドブックも読んでいたが  
きたい。ここでは少し違った一面からこの山の事を書  
いて見る。

冬山のハケ岳と言えは一般には初心者向であると  
言われている。だがこれは良い条件がそろった場合  
である。ひどい時は11月でも普通は半日行程の行  
者まで行けず"山中の南沢で"深雪のためピバークを  
余義なくされたという事もある本を読んだ。

又条件が良ければ"夏山と大して変らな"様な調子  
で行って楽しめる事もある。だがこれはハケ岳に限らず"冬  
山はどの山にも言える事なのかもしれない。

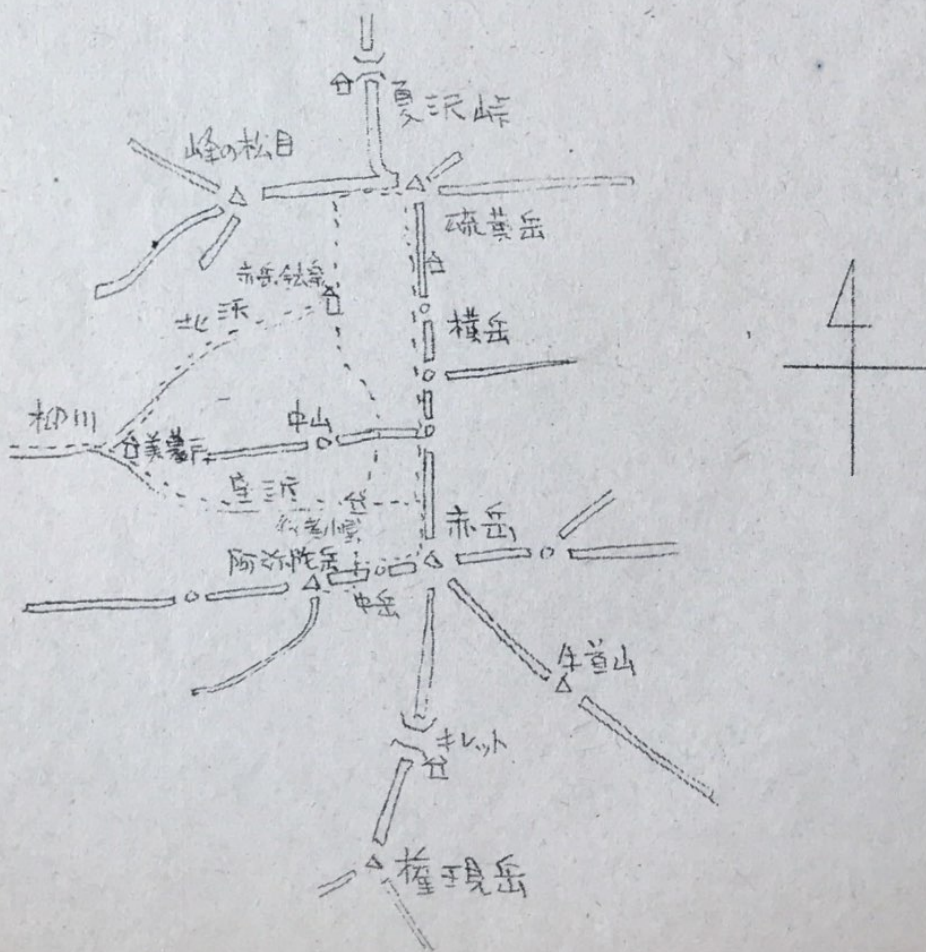
この山は規模が割合に小さい。だがアルパイン的状  
態(少し変だが)は一応そろっていてスケールの小さい半面  
景色等が良かったり、コースにも岩場あり樹林帯ありで  
変化があるのではないかと思う。これよりハケ岳の強風と  
言えは有名であるがこれは確かに注意しなければ危  
険であるかもしれない。下の樹林帯は無風の状態で  
あっても一歩稜線へ出れば思わず"岩影に寝て"込みたく  
なる様な強風の時はガラにあると言っても決して言い過ぎ  
ではない。

アイゼンについてであるがこれは大体テント場からは  
いて行く様になると思うが、丁度アイゼンにはきかれて  
つけているのをわすれた頃このコースでは比較的  
危険である稜線へ出る様になると思うが、ここで注意  
しなければならぬのはアイゼンのツアックをズボン、又



はオーバーシュートにひきかたけない事である。この稜線から  
 落ちたら良くて滑落停止のきかない雪の急斜面や岩場  
 であるから稜線からの滑落は死へ通じるかもしれない  
 以上で終えたいと思ふが最後にもう一度ガイドブックを  
 読んだり地図を見たりしてコースは良く覚えてほしい。ガイ  
 ドブックが完全な本という訳ではないが少なくとも現在  
 地図上の何処から辺を歩いていてあそこに見える山は  
 何々岳だ位は他の人に聞かなくても分かる様にしてほ  
 しい。色々自分で先輩に聞いたりして研究しても  
 ほしい。

ハケ岳概念図









- ✓タオル 1本
- ✓ナイフ 1
- ✓小物入 (針系 含む) 1
- ✓時計 1
- テルモス 1
- ✓カイロ 1
- (灰) 20本入 1缶
- ✓薬 (ビタミン剤, 持薬 etc)
- ✓ホリエナレン袋
- ✓金十金
- ✓タワシ (雪をほらう時使用 アラシ可)
- ✓ヒジヨウ
- ✓起収品

etc

## 団体装備表

冬テント一式	2
ラジオ	4
石油タンク	4
シャベル (雪用)	2
ガイル (+0m)	1
ナベ 大	1
ナベ 中	1
ナベ 小	1
ヤカン (大)	1
タタ	1
巻 器 (1人3こ)	25
お 玉	2
しゃもじ	2
ほうちよう	3
ビヤゴ	3
温度計	1
トランシーバー	1



# 食料計画

23日	朝	弁当各自持参
	昼	弁当各自持参
	晩	スキヤキ(ネギ、肉、白滝、しょうゆ、砂糖)
24日	朝	ぞうに(もち、ネギ、しょうゆ、にぼし)
	昼	食パン(パン、リーセージ、ジャム、マーガリン)
	晩	カレー(インスタント・カレー、副神づけ、マグロフレーク)
25日	朝	ぞうに(ネギ、ホーレン草、みそ、にぼし)
	昼	食パン(リーセージ、ジャム、マーガリン)
	晩	野菜イタメ(コンビーフ、キャベツ、マーガリン、ポタージュ)
26日	朝	みそ汁(ワカメ、にぼし、みそ)
	昼	食パン(パン、リーセージ、ジャム、マーガリン)
以下停滞食料		
		デンプラ(ニンジン、サツマイモ、ネギ)

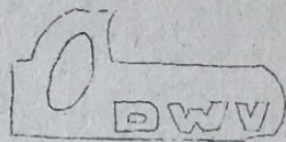
停滞食料は上へ登った時に臨機応変にやりませう。

この標は食時の用意の時各自が持っていて何を作るかは良く覚えておいて下さい。

この外に晩メシの時等は副食としておろしかけ、海苔のつくたごにちびを適量に加えます。

上での行動中は休みごしにオカシヤようかんを食べる様にします。





冬山合宿計画表

昭和37年12月15日

編集者 岸田浩昭

中川真之介

山田哲男

独協ワーカーホーゲル部(D·W·V)

非売品